

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「小野のシダレグリ自生地」天然記念物指定100周年記念シンポジウム事業
事業主体 (連絡先)	辰野町 (上伊那郡辰野町中央1番地)
事業区分	(3) 教育、文化の振興 (1) 地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	961,675円 (うち支援金: 721,000円)

事業内容

国天然記念物「小野のシダレグリ自生地」が指定100周年を迎えたことを記念してシンポジウムを開催した。最新の調査で判明した事柄や、天然記念物が地域の営みの中で守られてきた歴史を広く紹介することで、地域住民の愛着を高めると共に、保全のための資料に供した。また他市町村や保全団体等とネットワークを構築した。

- ・ディスカッションのオンライン収録

令和3年9月12日 辰野町民会館

- ・シンポジウムの講演動画公開 令和4年1月19日～
視聴者実績: 744名 (計画時300名集客)
- ・パネル展 令和3年9月11日～令和4年2月27日
鑑賞者実績: 3,767名 (計画時300名集客)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①シンポジウムをオンライン開催できたことで、集客予定人数を上回る方に視聴していただいた。またパネル展を3カ所で開催できたことにより、4,000名近い方に本事業をアピールできた。

②本事業を通じて2市(およびボランティア団体)と緊密な連携が図れた。また動画を県市町村文化財担当者の研修資料にさせていただいたことで、全ての市町村に動画をご覧いただき、研修内で意見交換がなされた。

③ボランティアの増加には未だ至っていないが、2名から参加問い合わせがあった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業を通じて、調査研究で明らかになった事柄や各地の先進的な保全事例が多数紹介された。今後はこの内容をより活用しやすい資料に取りまとめ、さらなる周知に努めたい。また本事業を通じて構築された繋がりを大切に、今後も定期的に情報交換しながら保全の取り組みを共に次の世代に繋げたい。

本事業では地域住民と天然記念物の歴史的関わりが語られたが、そのことを地域住民により一層周知し、天然記念物に親しんでもらえる仕組み作りが必要であると感じた。本事業で指摘された事柄などを踏まえ、保全の機運をさらに高めるため、整備イベントや学習会なども検討したい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【パネルディスカッション収録】

【目標・ねらい】

- ①関心を持つ近隣住民の増加
- ②他市町村との連携体制の構築
- ③保全ボランティアの増加

※自己評価【A】

【理由】

- ・コロナ禍の中でも開催でき、予想を上回る多くの方に講演や展示をご覧いただけたから。
- ・保全に取り組む人材を増やすには至っていないが、今後増加することが期待できるから。